

2024年5月15日

各位

会社名 株式会社マクロミル
 代表者名 代表執行役社長 CEO 佐々木 徹
 (コード番号: 3978 東証プライム)
 問合わせ先 執行役 CFO 橋元 伸太郎
 (TEL: 03-6716-0706)

配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2023年8月14日に公表した配当予想を下記のとおり修正(増配)することを決議しましたので、お知らせします。

記

1. 配当予想の修正内容

基準日	年間配当金 (円 銭)		
	第2四半期末	期末	合計
前回発表予想 (2023年8月14日公表)	—	13.00	25.00
今回修正予想	—	15.00	27.00
当期実績	12.00	—	—
(参考) 前期実績 (2023/6期 実績)	10.00	11.00	21.00

2. 修正の理由

当社は、株主に対する利益還元を重要な経営上の施策の一つとして認識しており、安定的かつ継続的な増配を実現する形で剰余金の配当を行うことを基本方針とし、連結配当性向については30%を目標としています。

当期の業績について、営業利益及び親会社の所有者に帰属する当期利益は、持分法投資損失の影響を受けていますが、キャッシュ・フローに影響はなく、当社事業については売上収益、事業利益^{*}ともに期初計画を上回って推移しています。

このため、2024年6月期の期末配当予想につきましては、1株当たり13円の予定とさせていただいておりましたが、現在の業績動向及び財務状況を総合的に勘案した結果、1株当たり2円増配の15円に修正します。これにより、年間配当金は中間配当の12円とあわせ27円となります。

また、中長期的な株主価値向上のため、資本効率の向上と株主の皆様への還元のバランスを考慮して、さらなる株主還元の強化を図る方針であり、新方針につきましては8月に予定している本決算開示にて2025年6月期の業績予想とあわせて公表する予定です。

※事業利益:

当社は、2023年6月1日付で当社の(旧)「その他の海外事業」セグメントを構成していた事業を英Toluna社へ譲渡し、その対価としてToluna社の株式の17.4%等を取得したことから、2023年6月期第4四半期よりToluna社は当社の持分法適用会社となっています。Toluna社では、グローバル市場の景況感の影響を受けていることに加え、上述のM&A後のPMIプロセスに係る一過性のコスト計上が続いている中で、当社ではその影響を除いた当社グループの事業パフォーマンスをより明確に示すため、今期より営業利益からTolunaにかかると持分法投資損益を除いた金額を事業利益として開示しています。

以上